

2014年2月期 第3四半期 決算資料

スター精密株式会社

<http://www.star-m.jp>

証券コード 7718

2014年1月8日

■ 財務情報	P2
■ 事業別概況	
・ 特機事業	P3
・ 小型音響部品事業※	P4
・ 工作機械事業	P5
・ 精密部品事業	P6
■ 参考：事業および取扱い製品	P7

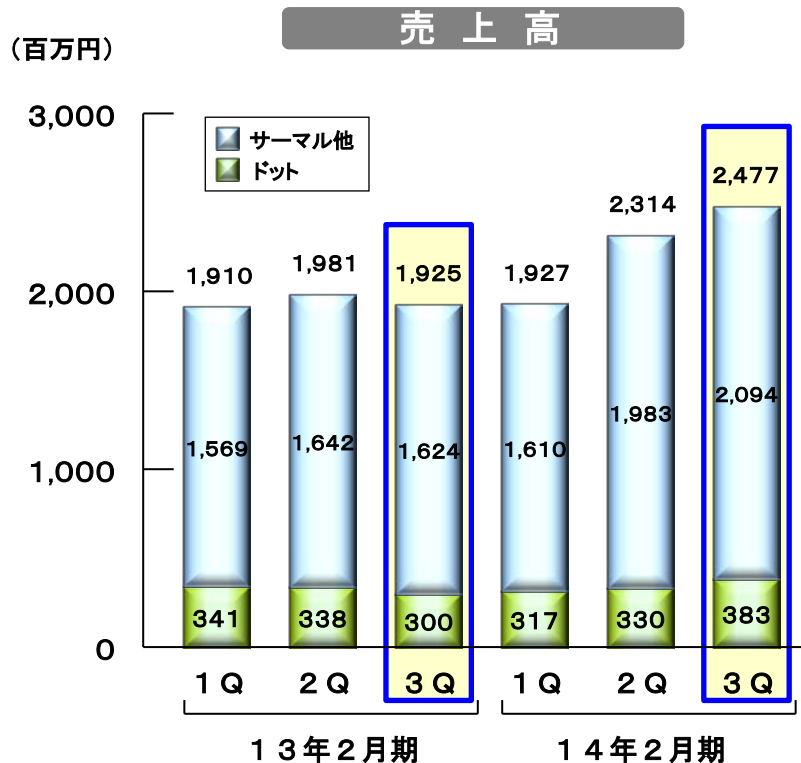
※2014年2月期より、セグメント名称を「コンポーネント事業」から「小型音響部品事業」としています

(百万円)

	2013年2月期 実績								2014年2月期 実績								対前年同期比	
	1Q		2Q		3Q		1Q~3Q計		1Q		2Q		3Q		1Q~3Q計		1Q~3Q計	
	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	増減率 (%)
売上高																		
特機	1,910		1,981		1,925		5,817		1,927		2,314		2,477		6,719		902	15.5
小型音響部品	831		850		741		2,423		659		770		817		2,247		△175	△7.3
工作機械	5,839		5,952		4,842		16,634		4,952		6,821		6,235		18,009		1,375	8.3
精密部品	1,105		1,124		955		3,184		831		977		1,020		2,829		△355	△11.2
合計	9,686		9,908		8,464		28,059		8,370		10,883		10,552		29,806		1,746	6.2
営業利益																		
特機	16	0.8	84	4.3	111	5.8	212	3.6	73	3.8	175	7.6	350	14.2	600	8.9	388	183.0
小型音響部品	△122	-	0	0.1	△47	-	△169	-	20	3.1	8	1.1	52	6.4	81	3.6	250	-
工作機械	843	14.4	996	16.7	586	12.1	2,426	14.6	401	8.1	902	13.2	878	14.1	2,183	12.1	△243	△10.0
精密部品	169	15.3	159	14.2	106	11.2	435	13.7	△25	-	56	5.7	104	10.2	134	4.8	△301	△69.1
消去又は全社	△466		△488		△496		△1,451		△533		△581		△615		△1,730		△278	
合計	439	4.5	753	7.6	260	3.1	1,453	5.2	△62	-	561	5.2	770	7.3	1,268	4.3	△184	△12.7
経常利益	514	5.3	764	7.7	429	5.1	1,708	6.1	268	3.2	564	5.2	975	9.2	1,809	6.1	100	5.9
当期純利益	523	5.4	1,413	14.3	230	2.7	2,167	7.7	114	1.4	112	1.0	569	5.4	796	2.7	△1,370	△63.3

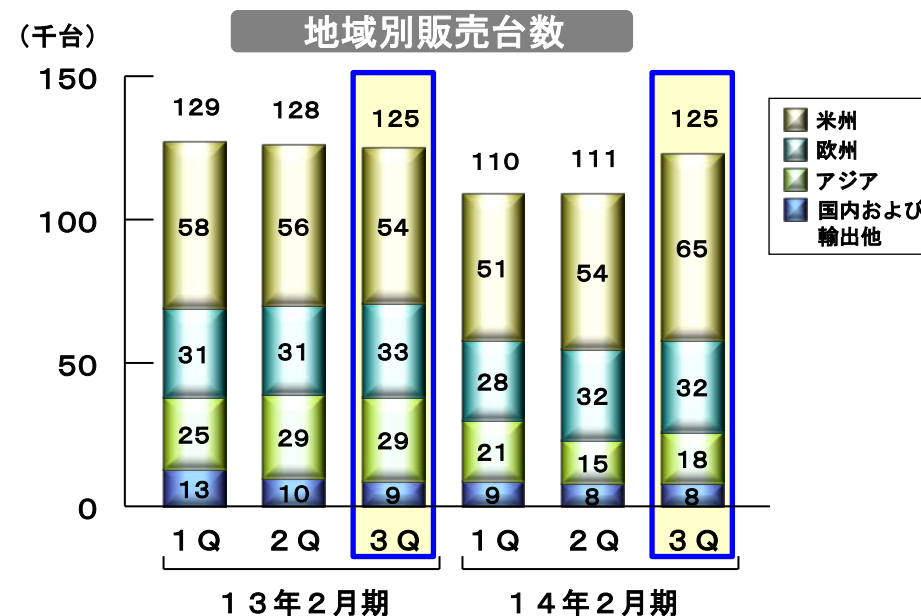
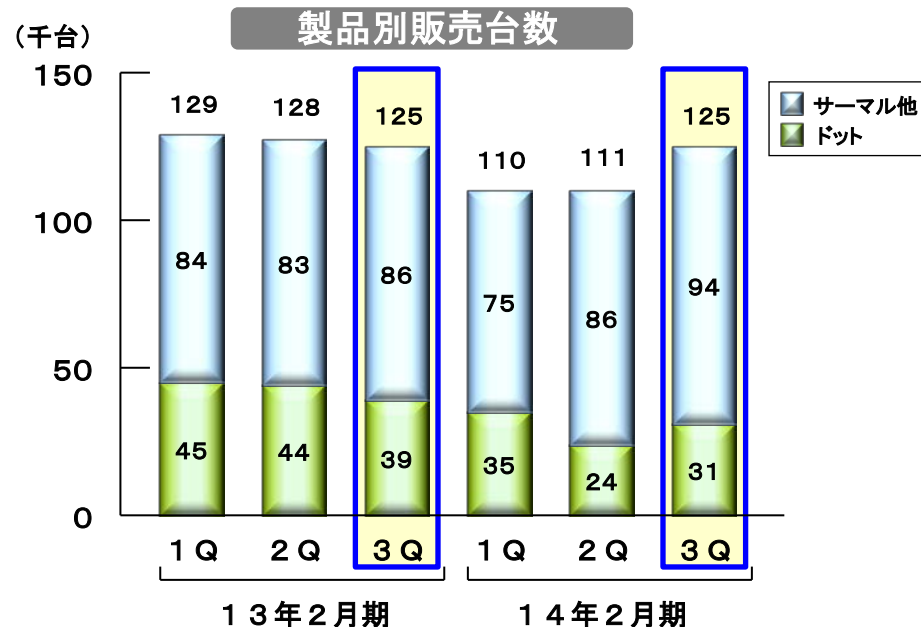
通期予想レート

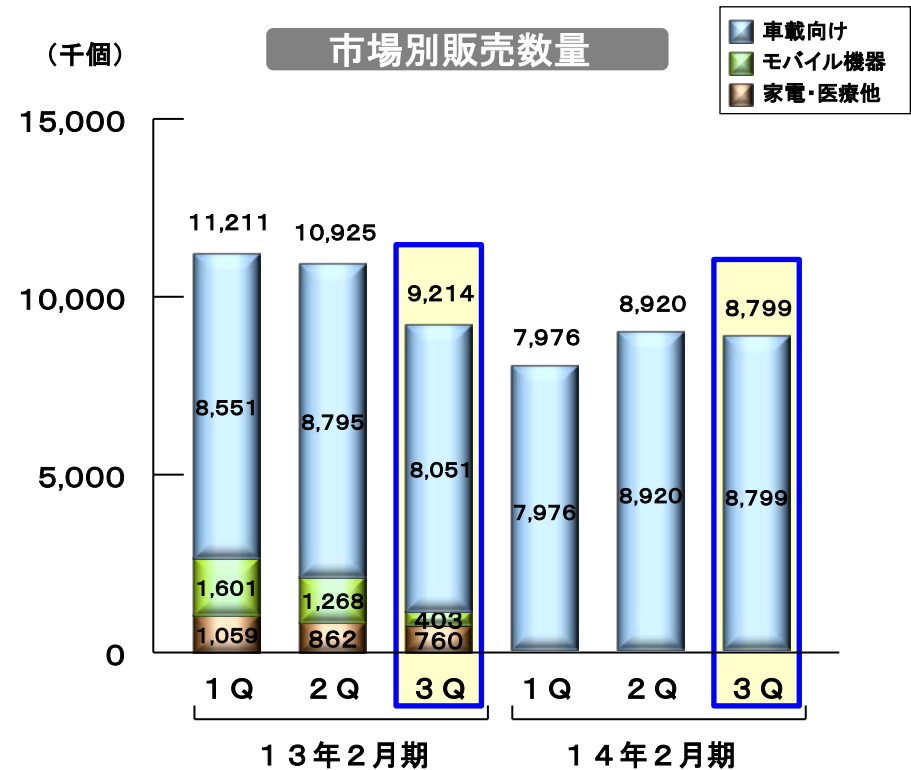
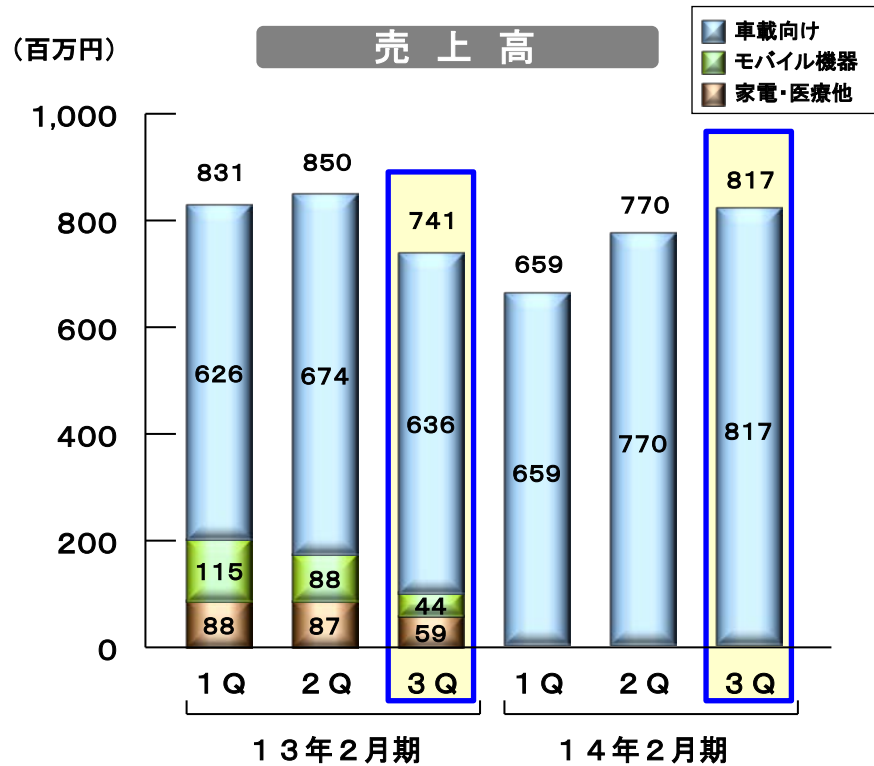
為替レート	US\$	79.38円				96.71円	95.30円
	EUR	101.76円				127.36円	125.25円
	GBP	125.22円				149.39円	146.70円
	CHF	84.50円				103.41円	102.00円



- ・サーマル製品は、北米市場や国内市場の需要が堅調に推移し、欧州市場での案件獲得に加え、為替が円安で推移したため売上増
- ・ドットインパクト製品は、欧州市場やアジア市場の需要が低迷したものの為替の影響もあり売上は前年同期並み

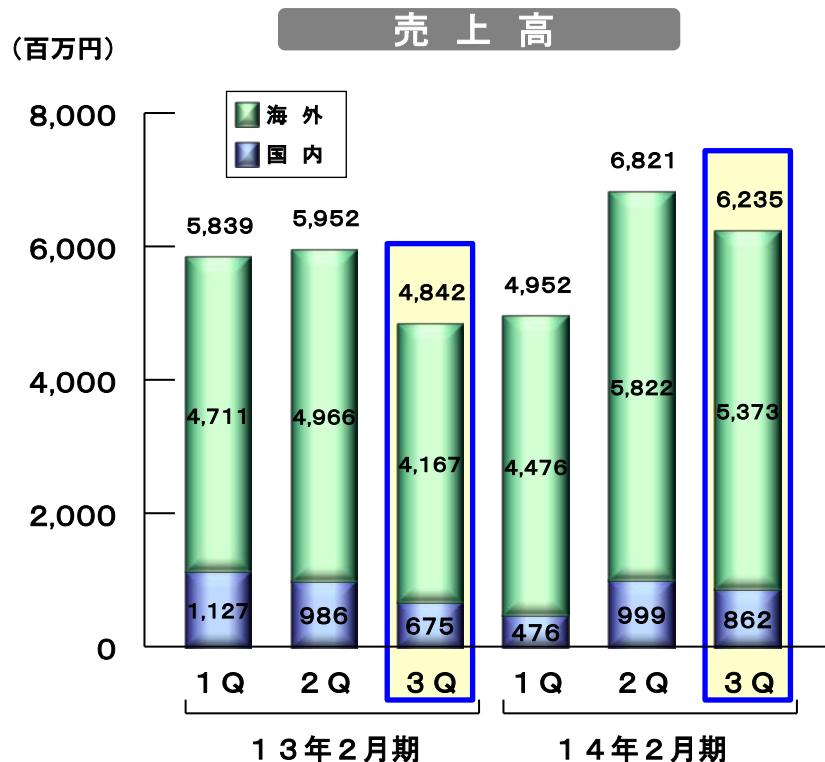
※上記は当第3四半期連結累計期間に対するコメントです





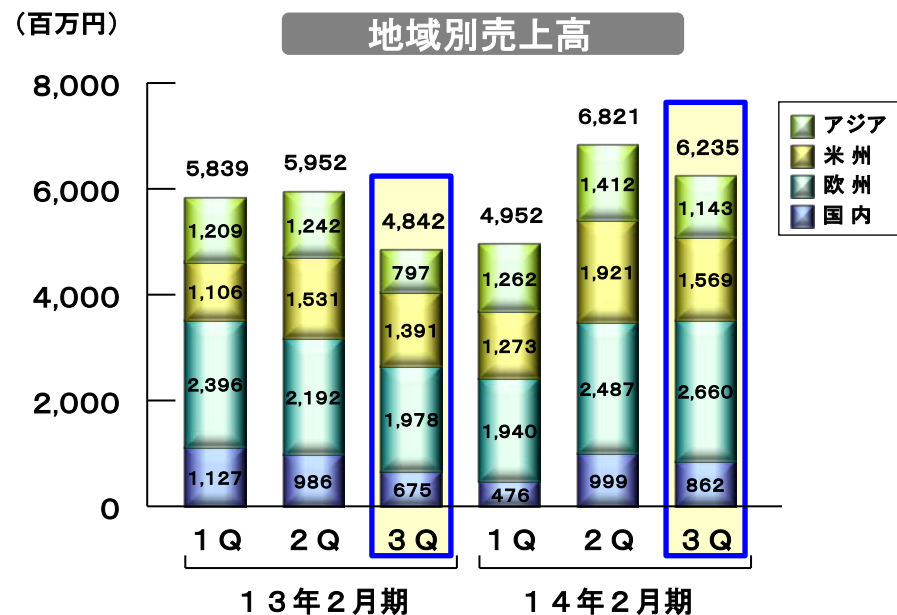
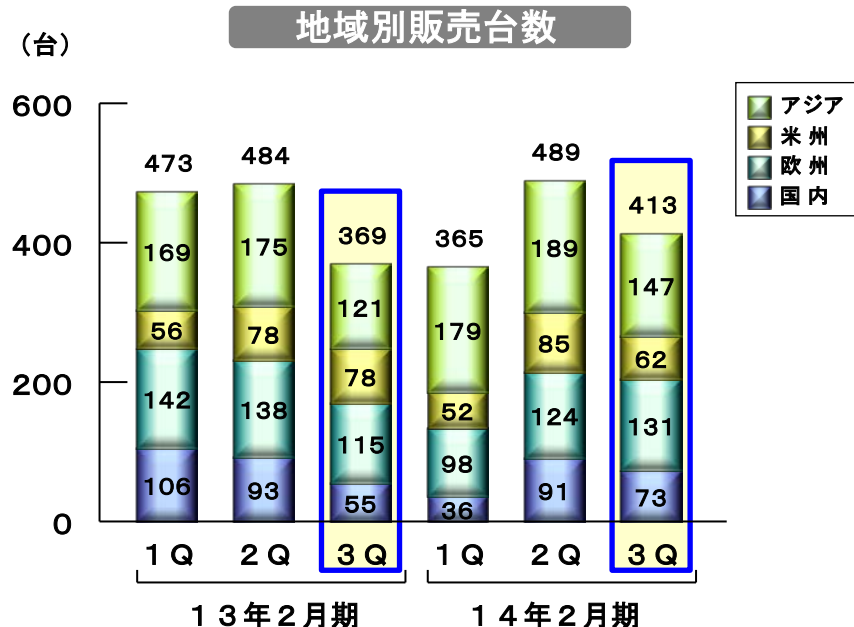
- ・顧客への供給責任を全うしつつ事業終息に向けて活動
- ・2014年1月1日付でフォスター電機株式会社への事業譲渡を完了

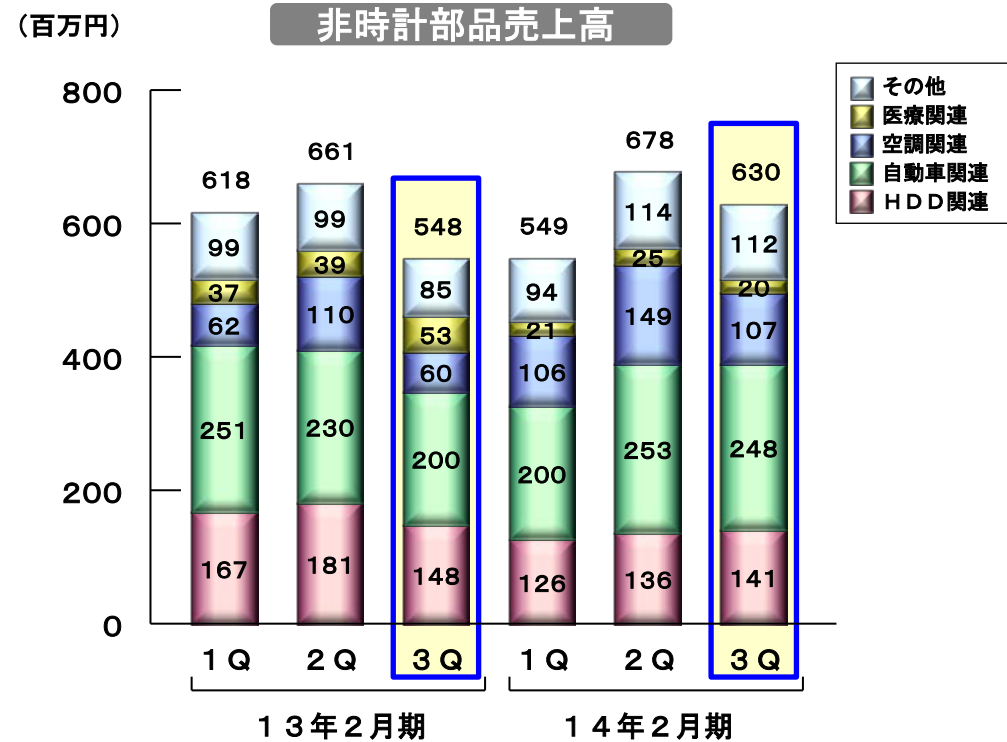
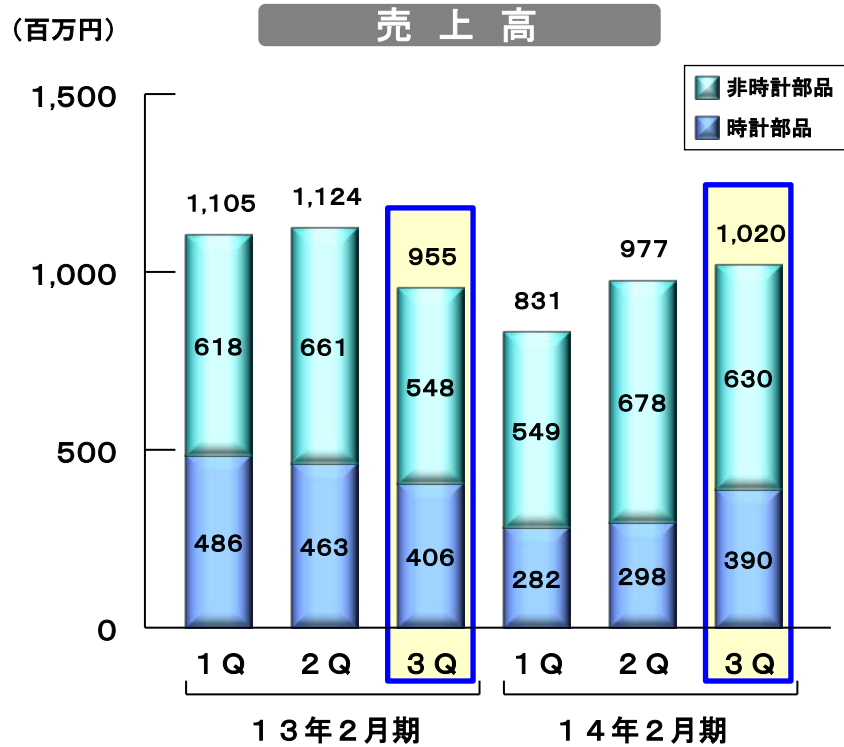
※上記は当第3四半期連結累計期間に対するコメントです



- ・ 米国市場は、医療関連などが堅調に推移するなか為替の影響もあり売上増
- ・ アジア市場は、東アジアにおいて携帯端末関連・医療関連向けなどが好調に推移して売上増
- ・ 主力の欧州市場は、全体としては前半の市況の低迷が影響し販売台数は減少するも、売上金額は為替の影響もあり前年同期を上回る
- ・ 国内市場は、自動車関連の動きはあるものの、前半の減少を補うことはできず売上減

※上記は当第3四半期連結結果計期間に対するコメントです





- ・腕時計部品は、腕時計メーカーの販売低迷に伴う在庫調整が進み、売上は回復してきたが前半の落ち込みが影響し大幅な減少
- ・非時計部品は、為替の影響を受けるなか自動車関連部品の売上は前年同期並みとなり、空調関連部品は好調だったものの、HDD部品の売上がパソコンの販売減少の影響から前年同期に比べ減少したため、全体の売上は前年同期並み

※上記は当第3四半期連結累計期間に対するコメントです

特機 事業

小型プリンター
TSP100ECO



モバイルプリンター
SM-S200



カードリーダーライター
TCP300 II

工作機械 事業



スイス型自動旋盤 ST-38



ターニングセンター SF-25



CNC自動旋盤 SG-42

精密部品 事業

腕時計部品



非時計部品

(自動車用・空調機器用・HDD用・医療用等部品)



(自動車用部品)